

ほほ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあとどうした事でしょう」)

N. Jamoshifan

発行 有限会社ナツプ
編集責任 中田 等
発行日 令和五年 三月
問合せ先 〇九八五五一七四〇九

ナイロンのよみある話

天然と人工ダウン

パッと見て暖かそうに見える「ダウンジャケット」や「ダウンベスト」。昨今では様々なダウン素材を使った洋服があります。加えて、SDGsの観点から既存のダウン商品より綿を取り出して、リサイクルで作られた商品も登場しています。今回はそんなダウン素材に関して書かせて頂きます。

ズバリ、カッコイイけど手入れが大変！それが羽毛素材の洋服。上着だからそんなに洗わない……とはいえ、経年のシミや汚れもあってどうしたものか。クリーニングに出すと、原油高もあり、もはや安い上着が買い換えられるほどの金額だったり。ネット記事や動画の普及によって家で洗う方法も情報が出ていますが、いざやるとなると勇気も必要。これを書いている私も、家で洗って良かった！と思う結果にたどり着いたことがあります。

そんな中、昨年人工ダウンの洋服をゲット。40年くらい前から開発されていた素材だ

それを普通の中綿と表記して激安で売っていたりすること裏地の中の話です。普通の中綿と違ってしまつのも無理はないのですが、買う側としてはとっても狙い目です。

コロナビア社のオムニヒー

そうで、アメリカ軍用として生み出されたもの。ダウン&フェザーが当たり前過ぎるのか、あまり聞いたことがない素材。それが、人工ダウン「プリマロフト」。アウトドアメーカーに詳しい方なら、新しくも何ともしないかもしれないのですが、私には衝撃的でした。それは、そのまま洗濯機で普通に洗って干せるダウンだから。しかも、ちゃんと温かい。※着る物の組み合わせは重要です。改めて探してみると、国内アパレルメーカーでの採用は少ないみたいですが、アメリカ生まれのブランドに割と採用されていて、素材も高く円安で結構いいお値段します。なので、抵抗の無い方ならば、古着店やメルカリでの購入をおススメします。ちなみに、タグの表示では中綿・ポリエステル100%表記。プリマロフトは専用ロゴが縫い付けてあるので、それが目印になります。結構驚いたのは、ショップでもネットでも「プリマロフト」なのに



『少子化の影響』 墓じまいはタイヘンだ…

まさかこんな事まで少子化の影響があるとは思わなかったです。

お墓は代々、受け継がれていくのが当たり前ですが、現在は、それが出来ずに悩んでいる方が多いらしいです。そして、無縁仏も増えているそうです。

我が家もここ数年、どうしたらいいのかと考えていました。

主人が3年前に脳梗塞で入院した時、万が一の事を考え、日南の山の中に有るみかん畑に囲まれた、建立して二十数年しか経っていない墓の墓じまいをすることにしました。

これは養父が入っている墓で、私は墓が主人の名で建立された事も知らせてもらえず、大変驚きました。

供物や供花もカラスが突くので、この墓だけには入りたくないと思っていました。

主人が入院していた為、日南市役所と地区の墓の管理責任者と宮崎市役所に連絡を取り合っており、宮崎市にある宮崎南部墓地公園の合葬

田舎の墓で一番困っていた墓掃除に参加の必要がないのも選んだ理由です。

これで一安心と思ったのにそれなのに実家の墓が大変な事になっていました。何を考えたのか父が子供に相談なく集落の墓を自宅の敷地に移していました。

実家の墓もいなくなるので私が元気なうちに、お寺の納骨堂に移して永代供養しようと考えていたのにどうしたらいいものかと悩んでいます。

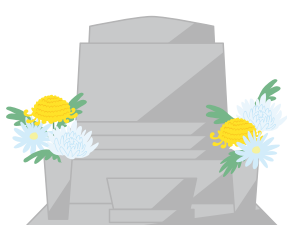
係の人の話では、合葬墓の予約がふえているとのことでした。

なぜ、宮崎市の合葬墓にしたかという宮崎空港から近いですし子供たちの墓参りも楽かな思ったからです。

又、墓守になる予定の女の子の孫が都会に住んでいて将来の負担にならない様にしたかったからです。

市が管理する為に墓が綺麗に保たれるし、周りに花壇もあり一年中、花が咲いています。

毎日、沢山のひと係の人が線香をあげて花を供えてお参りしてもらっているのも有り難い



グルメ探訪！ 美味しいモノを求めて

「串焼きの美味しい店！」

大工町にある「そうげん」と言う串焼き店に、10年以上通い続けています。

店の大きさはカウンター7人、座敷(テーブル)4人×8席くらいの縦に細長いお店です。

大将も若く顔立ちも良いです？ スタッフ数も多く元気があり？ 料理もお待たせしません。店内は電球色で落ち着いた明るい雰囲気です。

お酒の種類も豊富にあり、日本酒も毎回変わりごだわりのお酒が置いてあります。

私たちが必ず注文する料理は、おまかせサラダ・フライドポテト・鶏皮酢漬け・辛麺などです。串焼きはどれもとっても美味しいですよ。

何と言っても鶏レバーたれ焼きは絶品です、七味を多めで頂くと味変が楽しんでお勧めです。



おまかせサラダは野菜の鮮度とアクセントの揚げ物が絶

いんちきクライマーが征く！

「下山の時だけ哲学者になる」編

久しぶり山へ。低い山だけど、登りやすい、ファミリー向けの山。

これまで何十回と登った山。国富町と綾町に跨る「釈迦ヶ岳」だ。

あいかわらず、道も風景も、何も変わりはない。変わらな

いことが、すごい発見みたいで、ちょっとうれいような。

この冬に58歳になり、父親が亡くなった歳を越えた。

最近、なんだか糸が切れたフワフワした感じで、集中力も根気も欠けて、心が弾まないまま。登山口まで行くことが、なんとも果てしなく面倒だ。

これが、男のコーネンキってやつだろうか？...

息を整えながら、一步一步、ようやく800mの山頂に辿り着く。見下ろす一望の景色



は、東に太平洋、南に市街地、西に濃緑の照葉樹林の山群、そのほるか奥に鎮座するのは雄大な霧島山系。

何も変わることなく、そこに居た。

己の矮小さを振り返るまでもない。何十万年も昔からそこにいる、地球の大先輩の方々のだ。

頭を空っぽにして、景色に目をやりながら、アンプンをお茶で流し込む。風も無い、一人だけの山頂で、自分の咀嚼音だけが聞こえる。

さて、下りは、やはり足にきていた。踏ん張りが弱い。生まれたての小鹿のように山歩きをサボると、すぐに筋肉は衰えるのだ。

案の定、木の根に足を取られて、盛大にコケる。そのまま谷側の斜面へ転がって、登山道から2m程落ちる。怖さはない。ただ苦笑する。泥と枯葉を払って、やれやれと登り返す。

山では何が起きるか分からない。それなりの覚悟は常に心に置いているつもりだが、何の過失もなく、突然に身にふりかかる事もある。

数年前に、ちょっとマニアックなルートを登った際、5mほど横を、小振りの冷蔵庫庫サイスの岩が、ゴロンゴロンと転がり落ちていった事がある。

5m横にスレていたら、今の自分は今この世にはいなかったのだな。

何が運を分けるのか、誰にもわからない。

誰もが、いつかは命の火が消える。

そこにあるのは、虚無だ。数学でいえば、ゼロ。足しても割っても、ゼロはゼロ。ビッグバン以前の宇宙の始まりへと帰るのだろう。そんな事考えながら、ソロソロりと、下っていった。(賢)



編集後記

二〇二三年今年も早二ヶ月が経とうとしています。

ウクライナ侵攻とトルコ地震が連日ニュースで流れ、人災と自然災害を同時期に見て、同じ風景に戸惑います。

人の寿命はザクッと八十年、桜の時期を八十回しか見られないのに？

「戦争？」 何で愚かな事を繰り返しているのでしょうか？

家族が喜怒哀楽を共有し乗り越えて、周りの方々へ愛情を傾けることが生きる事だと思います。

どう生きるか？ ではなく「なぜ生きるか」を考えて生きたいものです。(等)

